

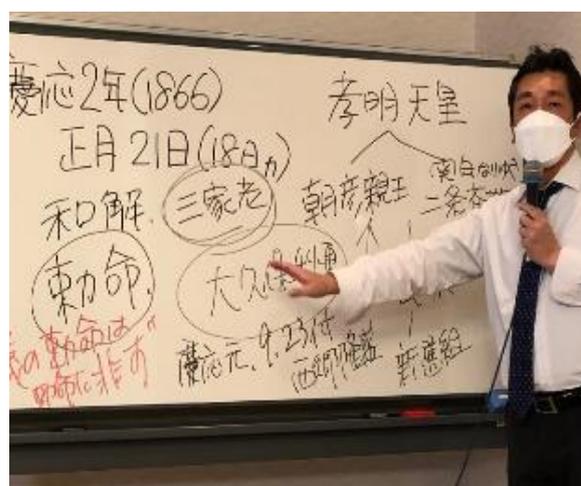
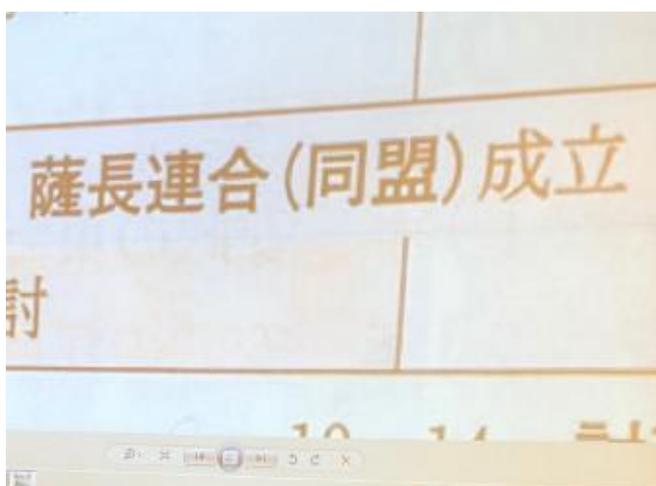
## 激動の幕末・明治維新史料

### 第14回講義 薩長同盟 (中村先生)

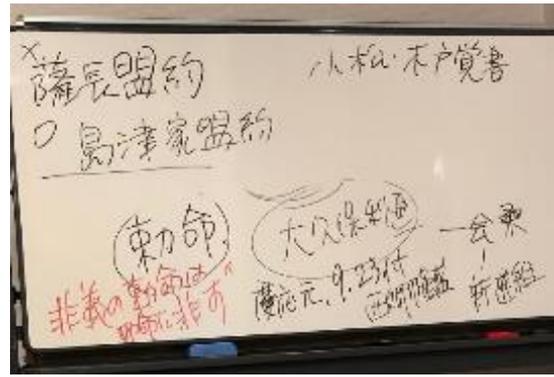
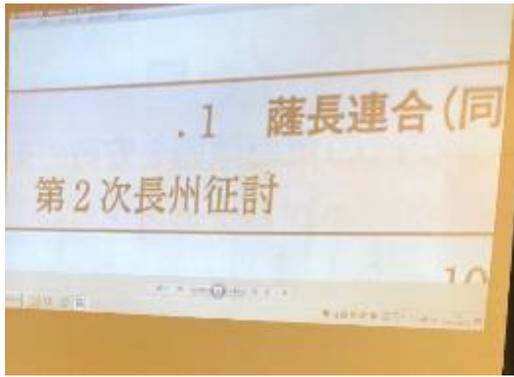
2班広報担当 2022年10月18日

講座名は第14回、鳥羽伏見の戦いとなっているが 配布資料は第13回 薩長同盟成立に基づいて、薩長同盟成立と大政奉還前夜、まででありました。

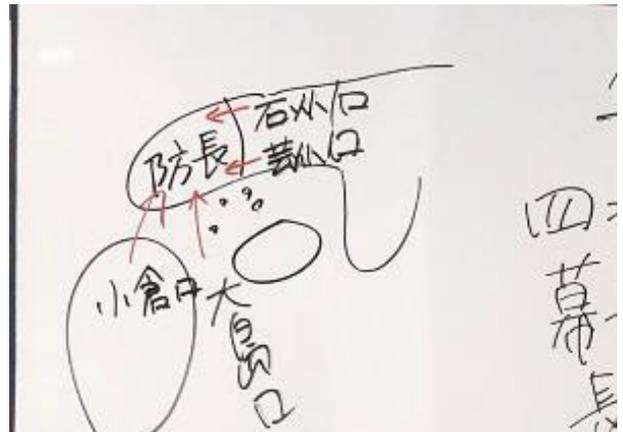
1. 歴史書(教科書、小説など)では、薩長同盟(連合)(薩長盟約)などと書かれているが、これらは適切でなく、最近の研究ではむしろ薩長和解、島津家盟約、もしくは小松・木戸覚書と呼ぶ方が相応しい。
2. 同盟は慶応2年(1866)正月21日とする説があるが、これは坂本龍馬を交えて内容確認された日であって、18日には実質的に決着していた。
3. 長州木戸孝允の主張は、第1次征討の始末は3家老の切腹で済んでおり、領地削減などの過大な要求は呑めないとした。幕府が第2次長州征討を宣言したが、長州は薩摩藩と軍事同盟を密約した。但しこれは討幕を目的としたものでなく、長州の冤罪を晴らすためで、むしろ戦争回避が目的だったらしい。
4. 坂本龍馬が薩長同盟の仲介の立役者のように言われるが、会議に同席したり、書簡に裏書きしただけとの説もある。また有名な「船中八策」も巷間唱えられたものを文書にまとめたものである、ともいわれている。
5. 大政奉還前夜の、四境戦争(幕長戦争、長州戦争)について  
慶応2年(1866)6月毛利家が処分内容を拒否したので、第2次征討の開戦となった。8月停戦の勅許。  
慶応3年5月四侯会議、兵庫開港、王政復古、但し倒幕ではない。



第1次長州征討の処分を不服とする長州を和解させるべく薩摩が軍事密約をした。

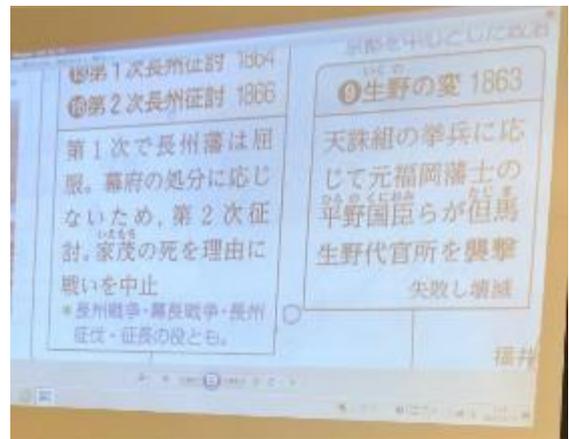
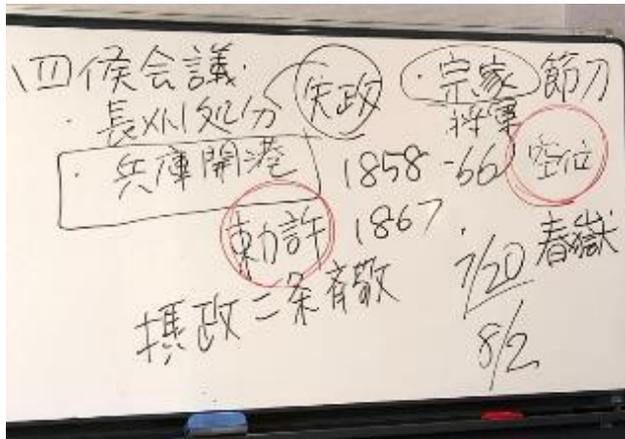


第1次長州征討、薩長盟約、第2次長州征討の説明



四境戦争の説明

石州口、芸州口小倉口、大島口から長州を攻めた



長州処分に失敗し四侯会議は兵庫開港などの勅許をえた。

以上